

令和2年度 福井大学教育学部附属特別支援学校 スクールプラン

**地域への期待**  
障害のある人となない人が、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合っていく社会の実現

**家庭との連携**  
一人一人の家庭生活の充実と生きる力（自立と社会参加）を育む教育の充実

福井大学附属学園第3期中期目標・中期計画における附属学園スクールプランに基づいた教育実践の実現

**本校の使命**  
○知的障害教育校としての使命  
○教育実習校としての使命  
○研究開発校としての使命  
○教員研修校としての使命

**〈本校の教育方針〉**  
一人一人に合わせた教育  
小・中・高一貫した教育  
関係機関と連携した教育  
**〈本校の教育目標〉**  
●心身共に健やかな子を育てる  
●生活に必要な基礎的能力を養う  
●はたらく喜びをもつ子を育てる

**本校研究テーマ**  
「分かる・できるを実感して、楽しさや喜びにつながる『運動』の授業づくり」  
**第59回全国学校体育研究大会テーマ**  
「生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、幸せに社会を生き抜くための資質・能力を育成する楽しい体育・保健体育学習」  
**目指す子どもの姿**  
子どもが主体的に活動している  
子どもが人とのつながりの中で活動している  
子どもがやりがいを持って活動している

		1 教育課程・生活教育	2 生徒指導・保健教育	3 進路指導・キャリア教育	4 教育相談・センター的機能	5 地域交流・インクルーシブ教育	
<b>重点目標</b>		「運動」の授業づくりを中心に、教育課程及び授業の改善に取り組む。	児童生徒の実態に応じた安全教育・情報教育の充実を図る。 養護教諭、栄養教諭と連携し、継続した保健教育、食育を行う。	段階的な進路指導・キャリア教育を推進する。 児童生徒・保護者の意思決定支援の充実を図る。	児童生徒の教育的ニーズに合わせて「おしゃべりタイム（心の相談会）」の充実を図る。	児童生徒が地域で様々な人と関わり、生き生きと活動できるように支援する。	
	<b>具体的取り組み</b>	<b>全体</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の子どもの学びのサイクルを大切に「運動」の授業づくり</li> <li>教師の学びのサイクルが繰り返される研究の実施</li> <li>より充実した運動の機会確保のための家庭や地域との連携</li> <li>研究授業、授業研究会の実施(年3回)</li> <li>活動ごとの資質能力の整理、個別プランへの活用及び保護者との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>危機管理マニュアルの確認と共通理解(家庭・福祉事業所を含む)</li> <li>安全教育の事前事後学習充実と家庭との連携</li> <li>児童生徒の実態に応じた保健教育、食育</li> <li>養護教諭、栄養教諭との継続的な連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>接続学部同士の丁寧な連携</li> <li>アンケートや相談会などを通じた本人の状況把握と、本人による主体的な実習先決定(中高等部)</li> <li>保護者への啓発活動</li> <li>おしゃべりサロンや進路だより、学習会、進路相談会などによる保護者の意向の聞き取りと情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒個々の教育的ニーズに合わせた「おしゃべりタイム」の実施(一人1回以上、事前の保護者の意向聴取)</li> <li>「おしゃべりタイム」の情報共有と児童生徒の生活への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地域」を「児童生徒の居住地」「本校の所在地域(藤島中学校校区)」「附属学園」「卒業後の生活域」とすることの周知</li> <li>本校の教育活動と関連付けられた交流活動の内容や方法の検討</li> <li>交流相手との連携の在り方検討</li> </ul>
		<b>小学部</b>	「体を動かす喜びや人と一緒に運動する楽しさにつながり、児童一人一人の運動面の発達を促す授業づくり」 ・児童のアセスメントや教師の記録、活動の振り返りを生かした活動設定と教材作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育について、連絡帳等を通じた家庭との情報共有</li> <li>情報機器活用に関するルール・マナーの学習</li> <li>身近自立を促す保健教育、食育の指導の実施と継続した事後指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小6児童の中学部体験実習報告会への参加</li> <li>小6児童と保護者の高等部現場実習見学会への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おしゃべりタイム」を一人1回程度実施</li> <li>事前・事後における保護者や教師間での情報交換、日々の生活への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校間交流、学園(附属幼稚園)との交流における、事前学習・事後学習等内容の充実</li> </ul>
		<b>中学部</b>	「生徒が主体的に活動に取り組み、体を動かすことや友達と協力することの楽しさを感じられる授業づくり」 ・授業後の教師間の定期的な情報共有の機会確保と省察の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育の学部通信等を通じた家庭との情報共有</li> <li>スマホ、タブレットなどの使い方に関するルール、マナーの学習</li> <li>思春期を安心して過ごせるような保健教育、食育の指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所見学や体験実習報告会などを通し、生徒自身が主体的に進路を考えるための支援</li> <li>体験実習の機会の拡充</li> <li>高等部体験の2回実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「おしゃべりタイム」の一人1回以上、必要に応じて複数回実施、対応の検討</li> <li>不安や心配ごと、楽しみや期待を表現する場としての「おしゃべりタイム」の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本来の教育活動と運動するかたちでの、地域(近隣の学校や施設)交流の実施</li> </ul>
	<b>高等部</b>	「生徒が運動の楽しさや意義を感じ、主体的に生涯にわたって運動に親しむための授業づくり」 ・丁寧な実態把握と授業の省察を基にした授業づくりとカリキュラムマネジメントの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実態に応じた避難訓練事前、事後学習の充実</li> <li>情報端末等の使い方に関するルール、マナーの学習</li> <li>卒業後の生活を見据えた保健教育、食育の指導と、学校生活の中で汎化できるよう継続した支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新高1への現場実習紹介、事業所見学、進路相談等の機会を通じた生徒自身が主体的に進路を考えられるような支援</li> <li>生徒の希望に応じた段階的な実習経験の積み上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や本人の思いを受け止め、話題や方法の工夫で一人1回以上実施</li> <li>内容を学部の教師や保護者と共有、必要に応じて各校務部と連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内「虹の市」を年2回実施(福祉事業所などとの連携)</li> <li>校外「虹の市」を年2回実施(福祉行政などとの連携)</li> <li>地域とのつながりを築く教育活動の実施と地域の本校への理解啓発</li> </ul>	
<b>評価項目</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>個別プラン</li> <li>主体的に取り組める教育活動</li> <li>情報共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全教育、情報教育</li> <li>健康、安全への配慮</li> <li>体力作り、保健教育、食育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育</li> <li>進路学習、進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流</li> </ul>	